

# 千葉市の目指す地方創生

人口減少・少子超高齢社会に果敢に挑戦し  
「交流」と「共創」による自立した圏域を創り出す  
～“ちば”共創都市圏の確立を目指して～

- 1 千葉市の現状分析
- 2 人口の将来推計と人口減少が将来に与える影響
- 3 目指すべき人口の将来展望～ちばシナリオ～
- 4 ちばシナリオを実現する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

その前に…

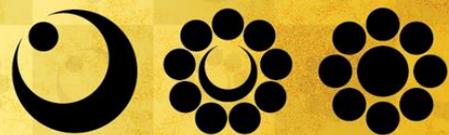
# 平成27年国勢調査 結果(速報)のご紹介

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。

千葉開府

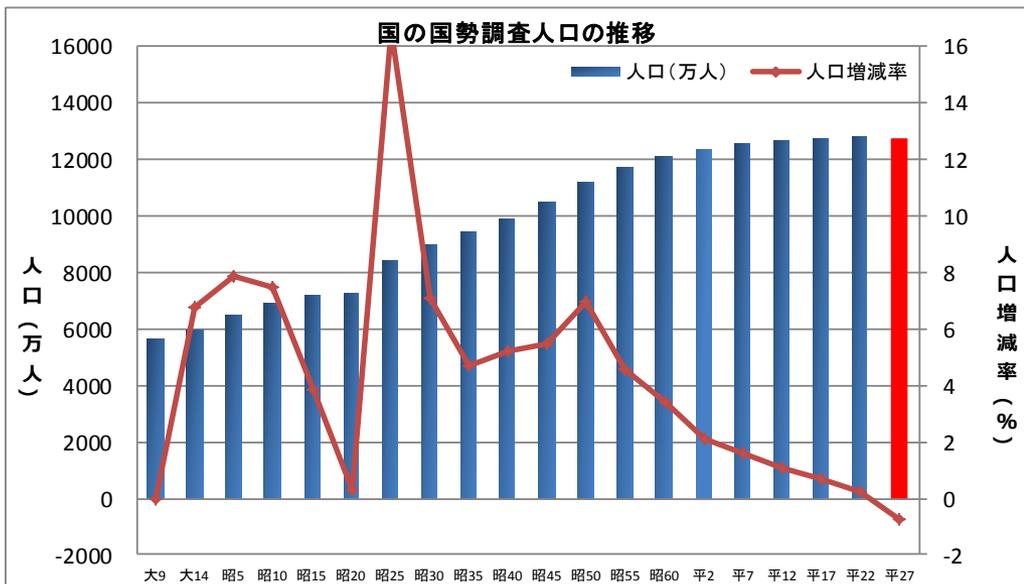
890



1126-2016



# 平成27年国勢調査結果(速報)

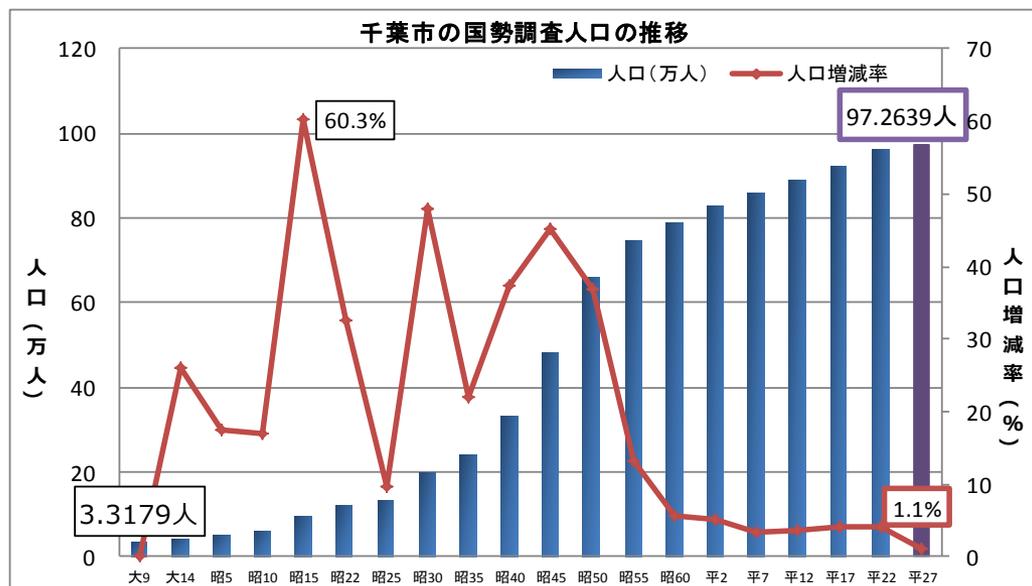


## 【国全体の動き】

- ・ 前回(H22)調査から**94万7千人の減(▲0.7%)**
- ・ 調査開始以来、**初の減少**
- ・ **39道府県で人口減**

## 【千葉市では…】

- ・ 人口増(+1.1%)を維持したが、**伸び率は過去最低**
- ・ 県内では54市町村中**39市町村が人口減**
- ・ さらに千葉市も**花見川、若葉、美浜の3区は人口減**
- ・ 人口減少の波は、早晚千葉市にも及ぶ…



# 1 千葉市の現状分析

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。

千葉開府

890



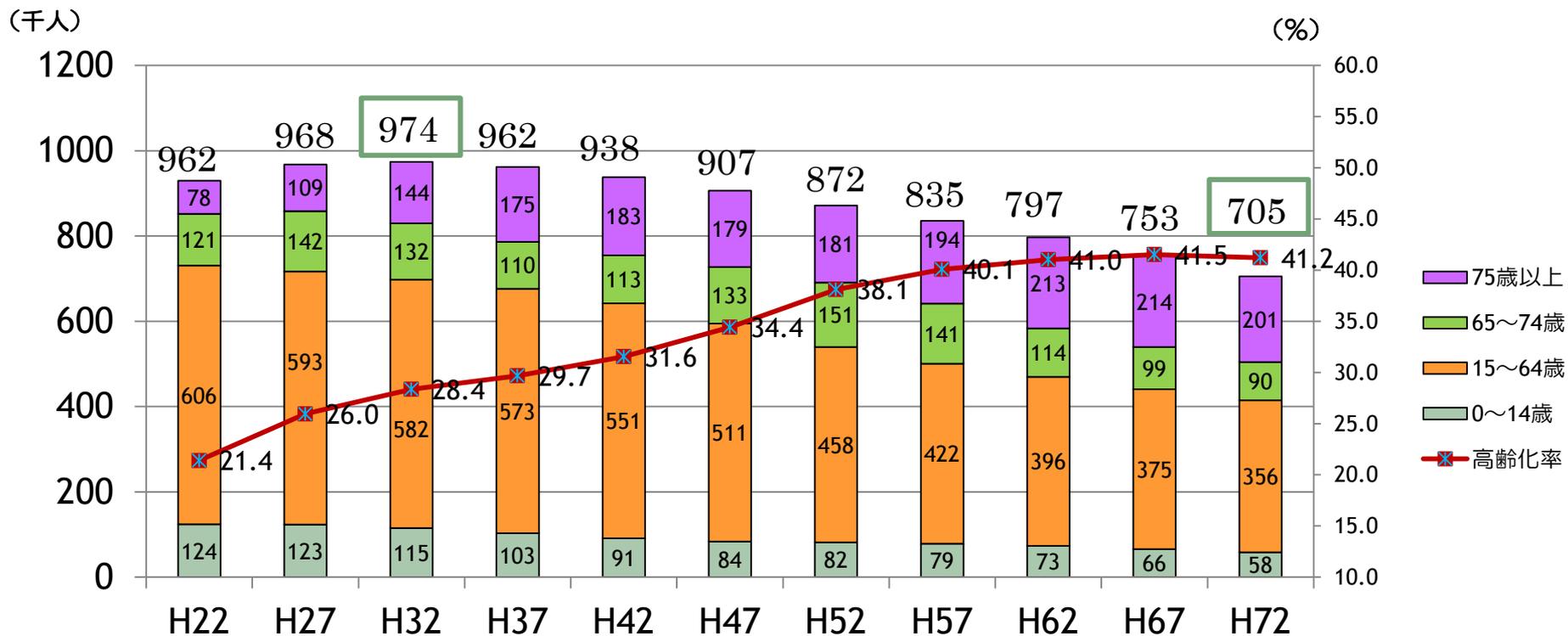
1126-2016



- ① 総人口の推移
- ② 人口の転入元・転入先
- ③ 東京圏の人口増加(減少)地域
- ④ 年齢別社会移動の状況
- ⑤ 通勤流動と昼夜間人口比率
- ⑥ 千葉商圏
- ⑦ 産業の域外収支
- ⑧ 現状分析のまとめ

# 1-① 総人口の推移(平成26年3月推計)

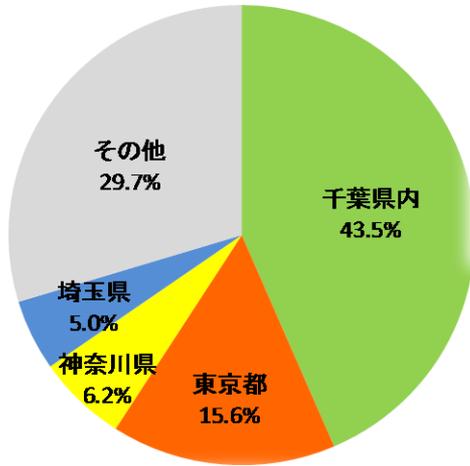
- ・ 千葉市総人口のピークは2020年(平成32年) 97万4千人
- ・ 2060年(平成72年)までに26万9千人 27.6%減少
- ・ 高齢化率は2055年(平成67年) 41.5%まで上昇



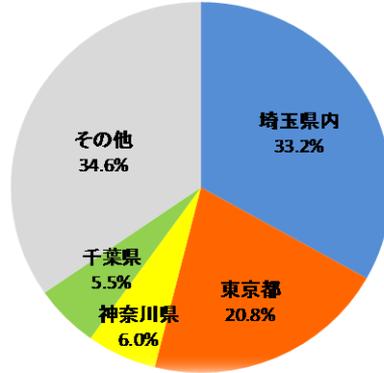
(備考) 平成27年以降は千葉市推計 (平成26年3月推計)

# 1-② 人口の転入元・転出先

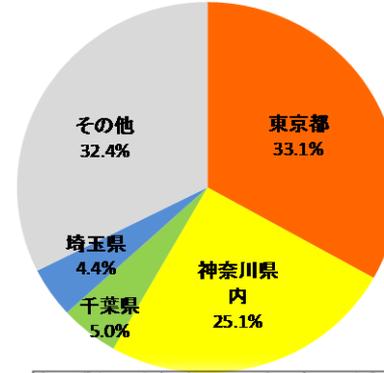
## 千葉市への転入元



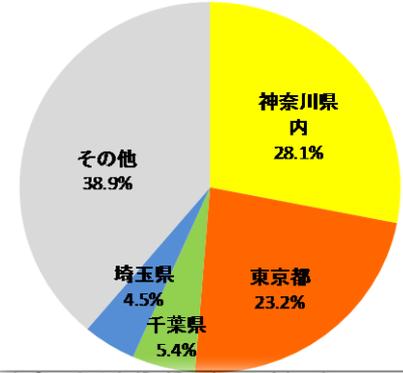
## さいたま市への転入元



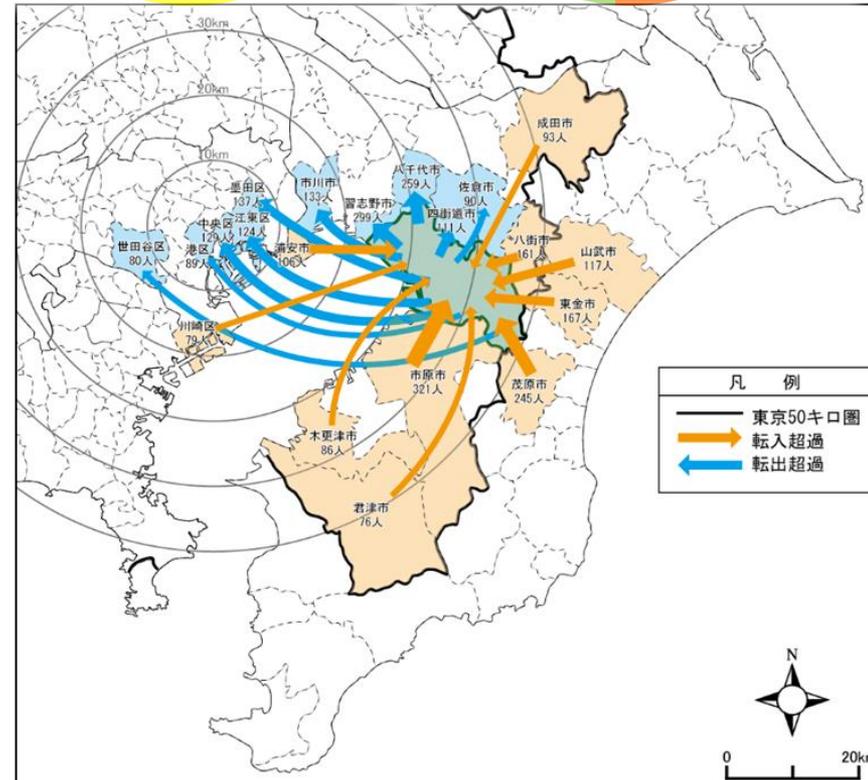
## 川崎市への転入元



## 横浜市への転入元



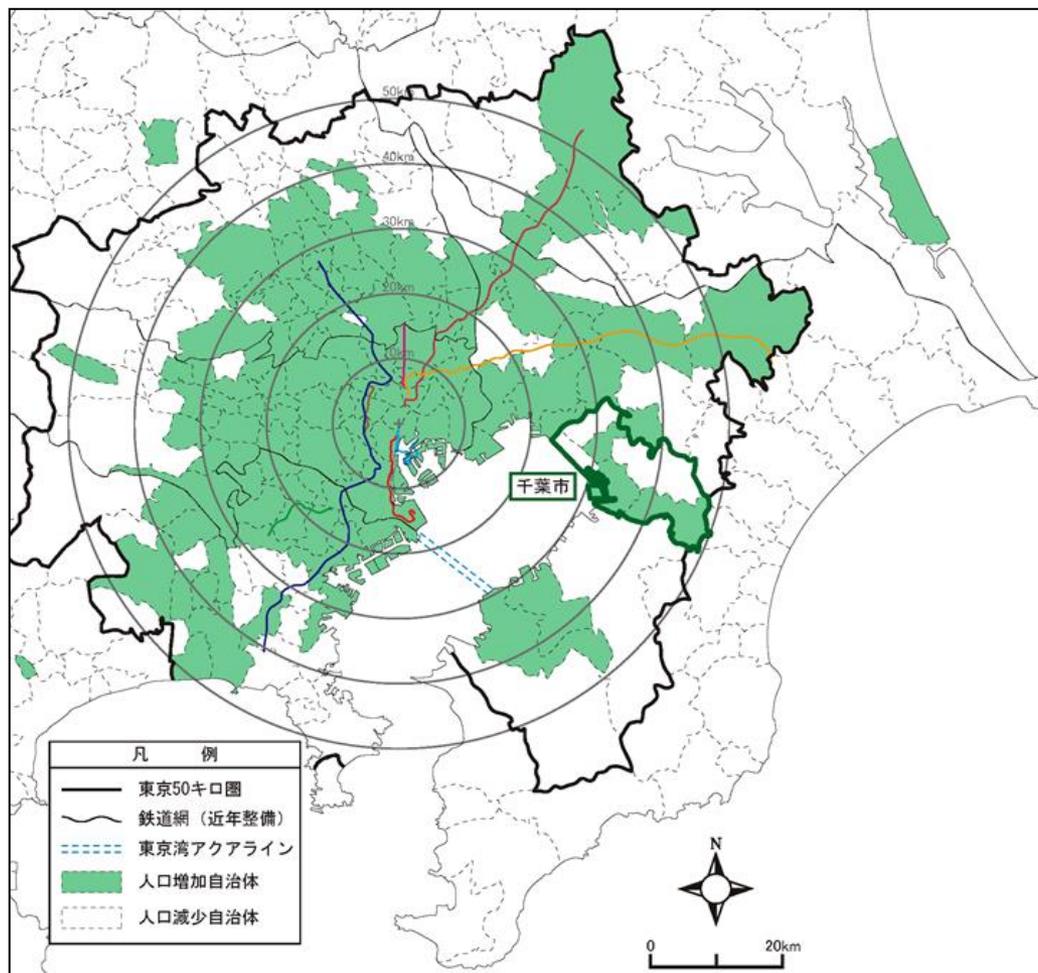
- ・ 県内中心の人口移動（43.5%が県内）
- ・ 市以東、以南の都市からの転入人口に支えられている
- ・ 一方、東京都に対しては、約1,000人の転出超過



# 1-③ 東京圏の人口増加(減少)地域

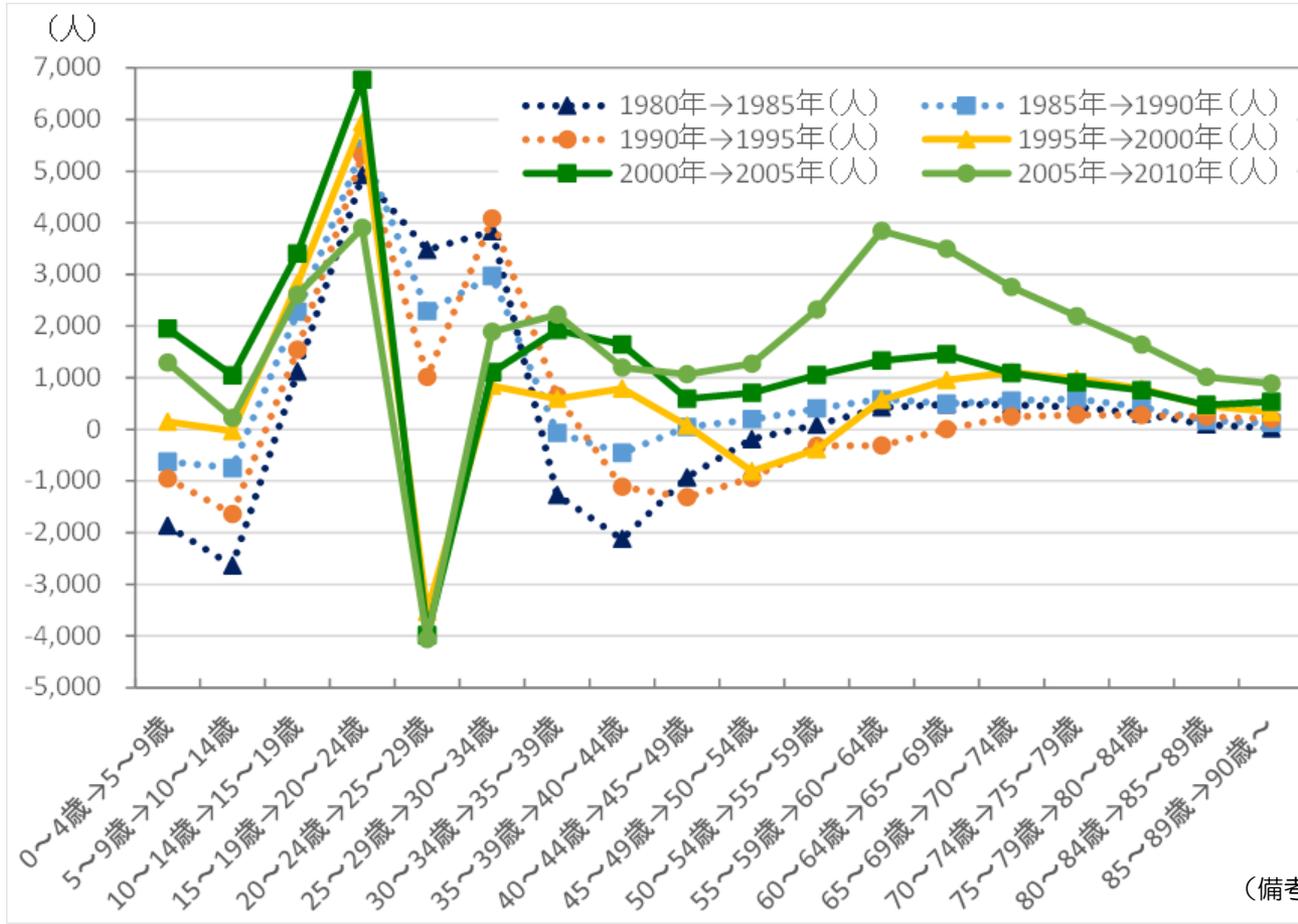
- ・しかし、千葉市の以東、以南では既に人口減少が始まっている
- ・千葉市は人口増加地域の波打ち際

(備考) 総務省住民基本台帳人口要覧 (平成24年度から平成26年度)



# 1-④ 年齢別社会移動の状況

- ・ 15～19歳→20～24歳にかけて大きな転入超過（山）
- ・ 20～24歳→25～29歳にかけて著しい転出超過（谷）
- ・ 30歳代、40歳代の転入も目減りしている

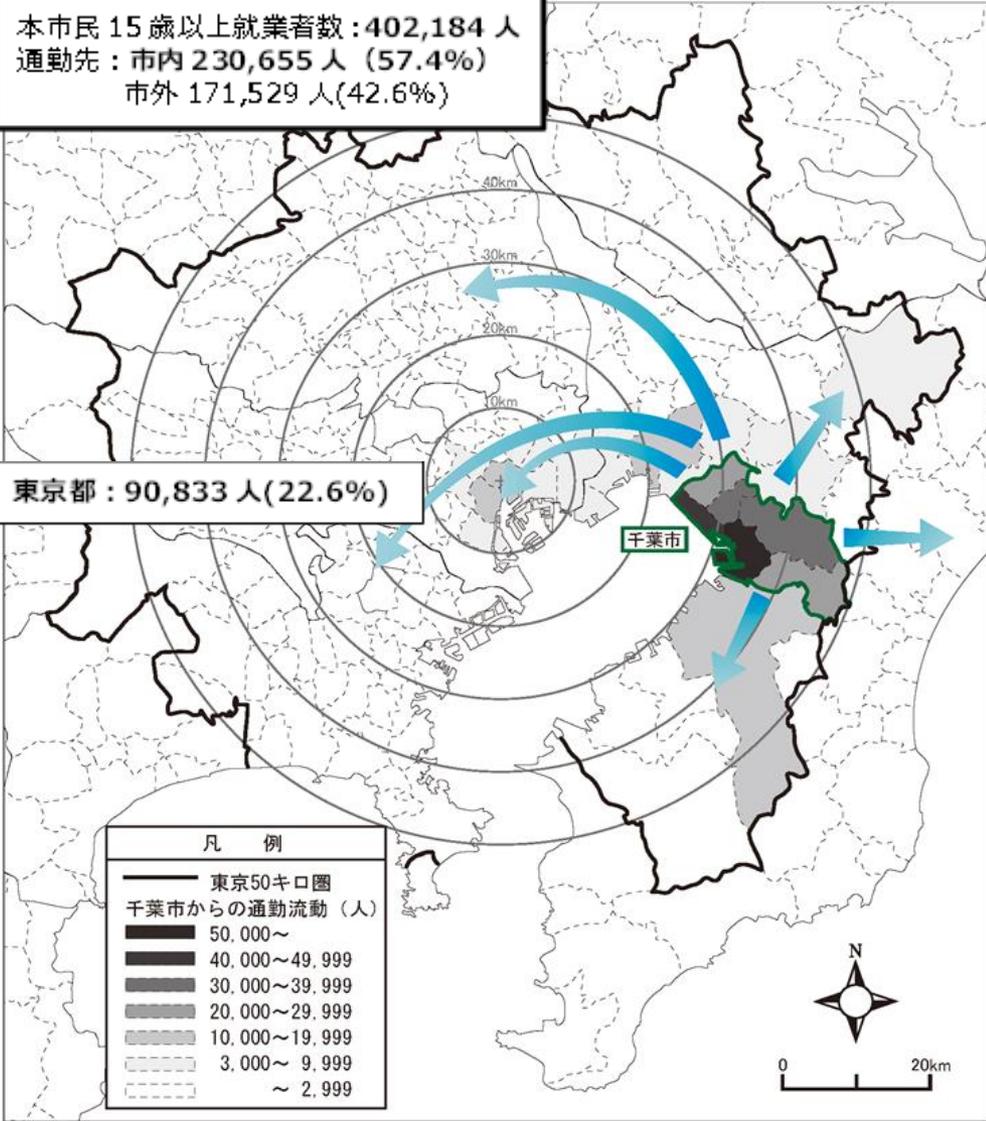


# 1-⑤ 通勤流動と昼夜間人口比率

- ・市内在勤者が多い
- ・“千葉都民”とは異なる結果

本市民 15 歳以上就業者数 : 402,184 人  
 通勤先 : 市内 230,655 人 (57.4%)  
 市外 171,529 人 (42.6%)

東京都 : 90,833 人 (22.6%)



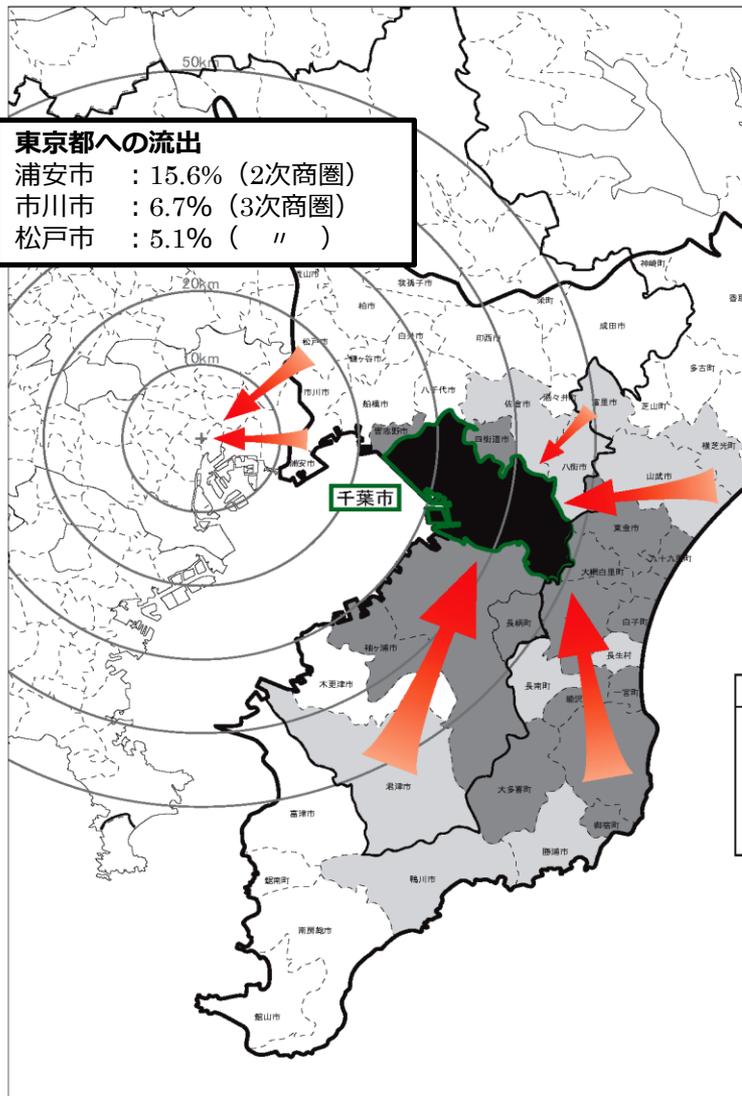
		千葉市	さいたま市	川崎市	横浜市
勤務先	市内	57.4	51.3	43.6	61.0
	県内他市	18.5	15.1	12.6	12.0
	東京都	22.6	30.8	42.5	26.0

## 昼夜間人口比率

千葉市	さいたま市	横浜市	川崎市	相模原市
97.5%	92.8%	91.5%	89.5%	87.9%

- ・首都圏政令市では突出して高い
- ・職住がバランス
- ・県内における高い拠点性

# 1-⑥ 千葉商圈(買い物動向)



**東京都への流出**  
 浦安市 : 15.6% (2次商圈)  
 市川市 : 6.7% (3次商圈)  
 松戸市 : 5.1% ( " )

## 千葉商圈

商圈人口 : 2,410,743人

## 市町村吸引率

千葉市 : 83.7%(地元購買率)

大網白里市 : 22.4%

長柄町 : 19.6%

四街道市 : 18.7%

市原市 : 17.2%

睦沢町 : 14.4%

東金市 : 13.4%

習志野市 : 13.3%

九十九里町 : 13.2%

茂原市 : 12.8%

袖ヶ浦市 : 12.5% ...

### 凡例

- 東京50キロ圏
- 第1次商圈
- 第2次商圈
- 第3次商圈
- その他

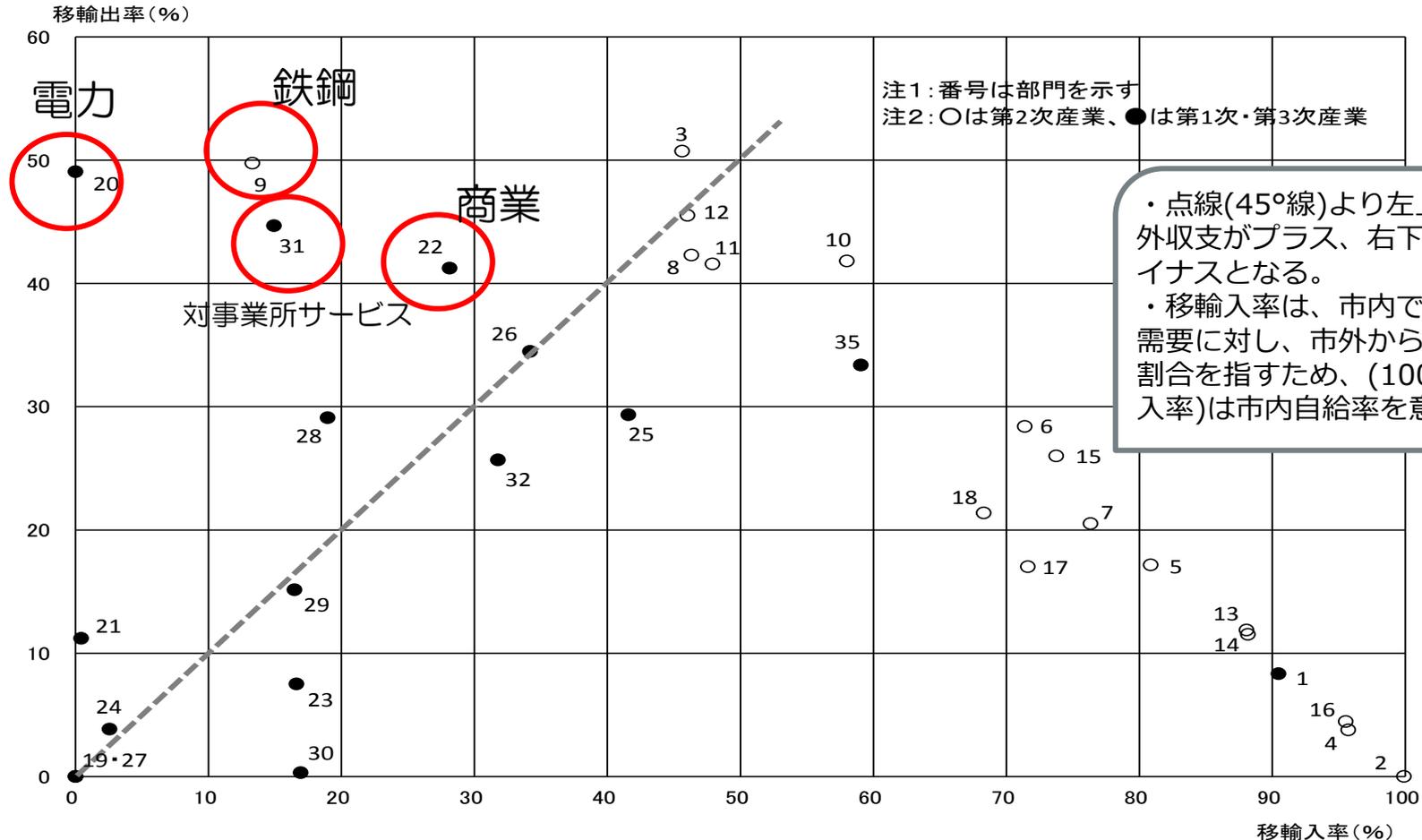


0 20km

- 商圈人口241万人
- 県内最大の商圈
- 県内で高い商業拠点性を発揮

# 1-⑦ 産業の稼ぐ力

- ・市の発展を支えてきた「鉄鋼」、エネルギー自給率も高い
- ・「商業」「対事業所サービス」の移出率も高い
- ・商業拠点、支店経済都市として、域外の需要を賄っている



# 1-⑧ 現状分析のまとめ

千葉市は圏域の中心都市、拠点都市である

- 都内への通勤率が低く（22.6%）、市内在勤者が多い（57.4%）
- 昼夜間人口比率（97.5）は、首都圏政令市・主要市の中で突出して高い
- サービス業の産業シェアが大きく、高い商業拠点性を有している



千葉市の外側では既に人口減少が始まっている

- 千葉市は県内からの転入者が非常に多い（特に市以東、以南のエリア）
- それらのエリアの人口減少は千葉市よりも急速で、人口の供給力は衰えている
- 圏域としてのプレゼンスの低下が危惧



千葉市が果たすべき役割

- 地方都市と同様、県内における「人口のダム」機能を発揮する
- “ちば”でしかできないライフスタイルを提示、圏域全体で人口の維持増加を図る
- 産業の「稼ぐ力」を育成、商業の中心、就業の場としての機能を発揮、圏域経済をけん引する

## “ちば”共創都市圏

現状分析から見てきた“ちば”の独自性

「東京」でも「地方」でもない新しい価値観を周辺都市と共に創る

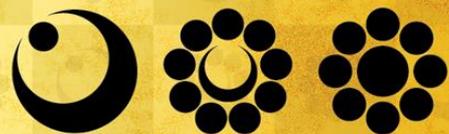
# 2 人口の将来推計と 人口減少が将来に与える影響

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。

千葉開府

890



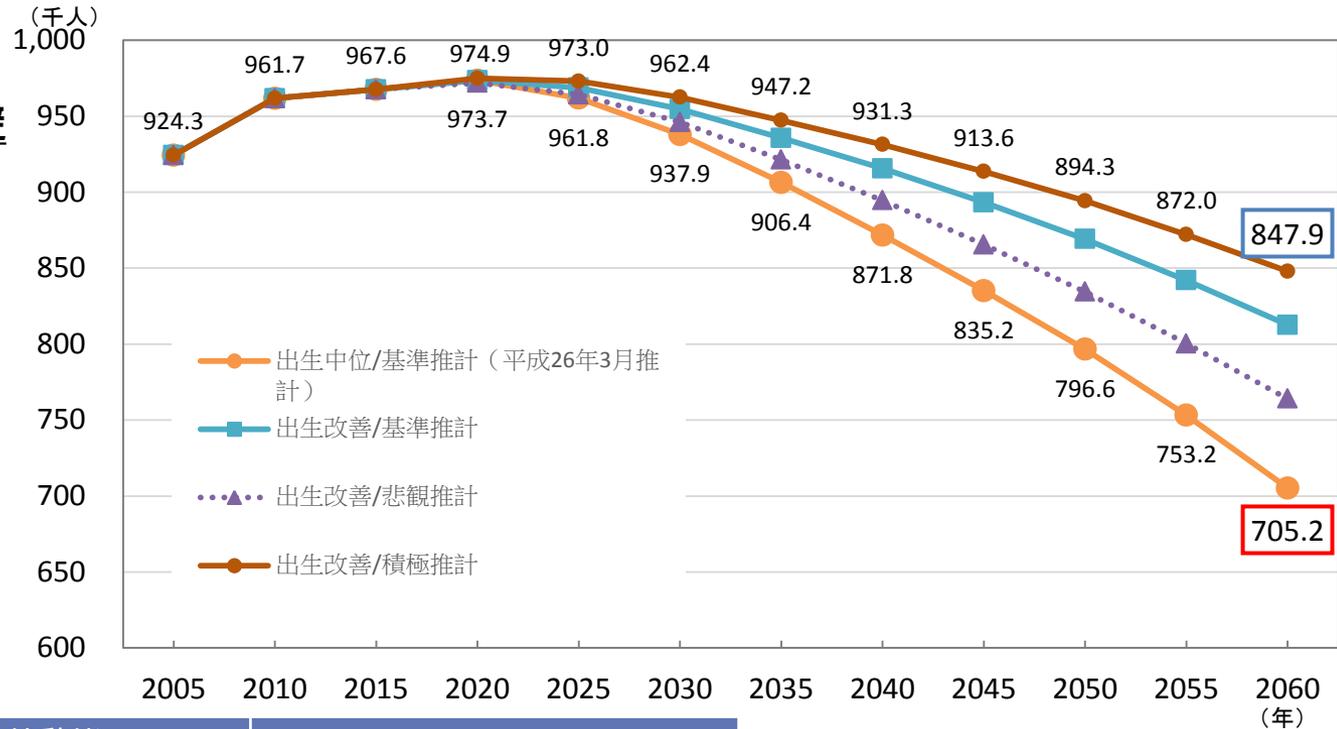
1126-2016

- ①人口の将来推計
- ②「肩車型社会」への移行
- ③労働力・就業人口
- ④財政への影響

# 2-① 人口の将来推計

## 基本的認識

- … **人口減少は不可避**
- … **高齢化も不可避**

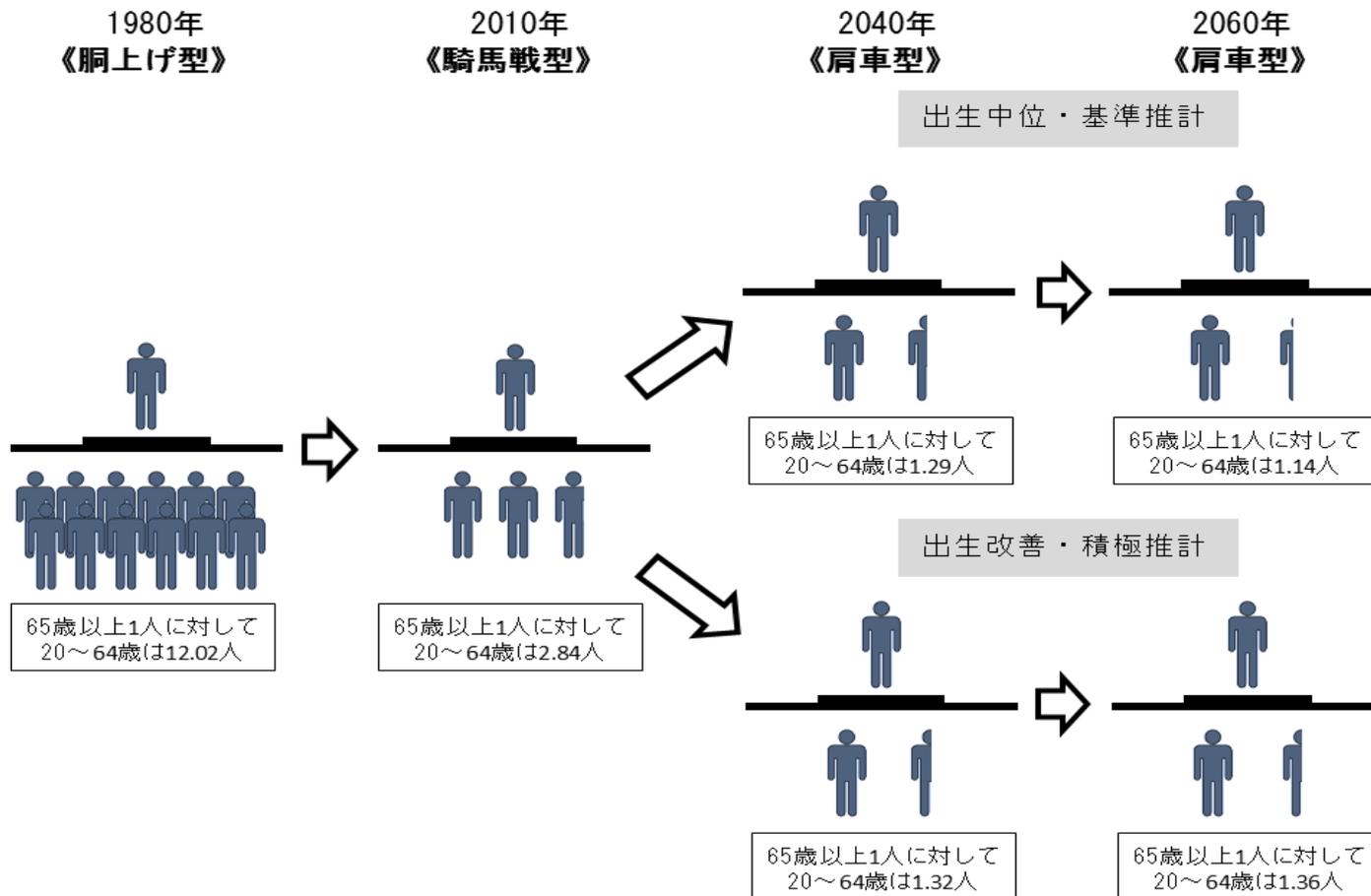


推計ケース	自然動態 (合計特殊出生率)	社会動態
出生中位/基準推計 (平成26年3月推計)	中位推計 現状水準のまま	基準社会増 (近年の平均値に大規模開発を加味)
出生改善/基準推計	改善 (国のシナリオと連動※)	基準社会増 (近年の平均値に大規模開発を加味)
出生改善/悲観推計	改善 (国のシナリオと連動※)	悲観シナリオ (社会増は縮小しやがて均衡する)
出生改善/積極推計	改善 (国のシナリオと連動※)	施策投入シナリオ (社会増年500人上乗せを図る)

※国のシナリオ：2030年に希望出生率（1.80）、2040年に人口置換水準（2.07）を達成  
本市推計では、これに連動させ、2030年に1.68、2040年に1.94までの向上を設定した。

## 2-② 「肩車型社会」への移行

- ・ 1.14人で1人の高齢者を支える時代が到来する「肩車型」社会
- ・ 出生の改善と、女性、若者、高齢者、障害者の労働参加、健康寿命の延伸に向けた取組みが求められる。



# 2-③ 労働力、就業人口

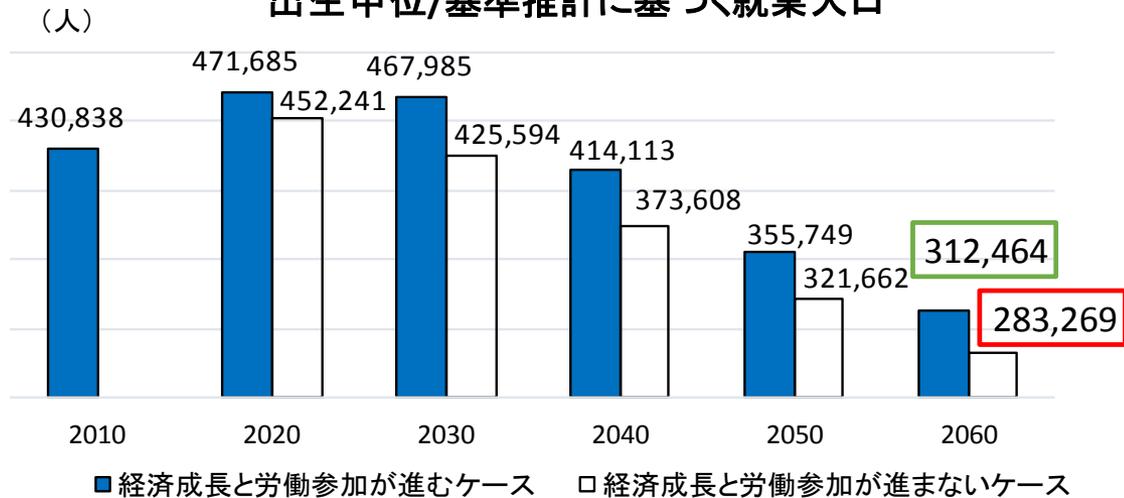
・ 2060年時点の就業人口は、最大の371,948人と最少の283,269人で、**約89,000人程度**の差

・ 4つのケースの違いは、「人口の見通し」と「労働参加の度合い」

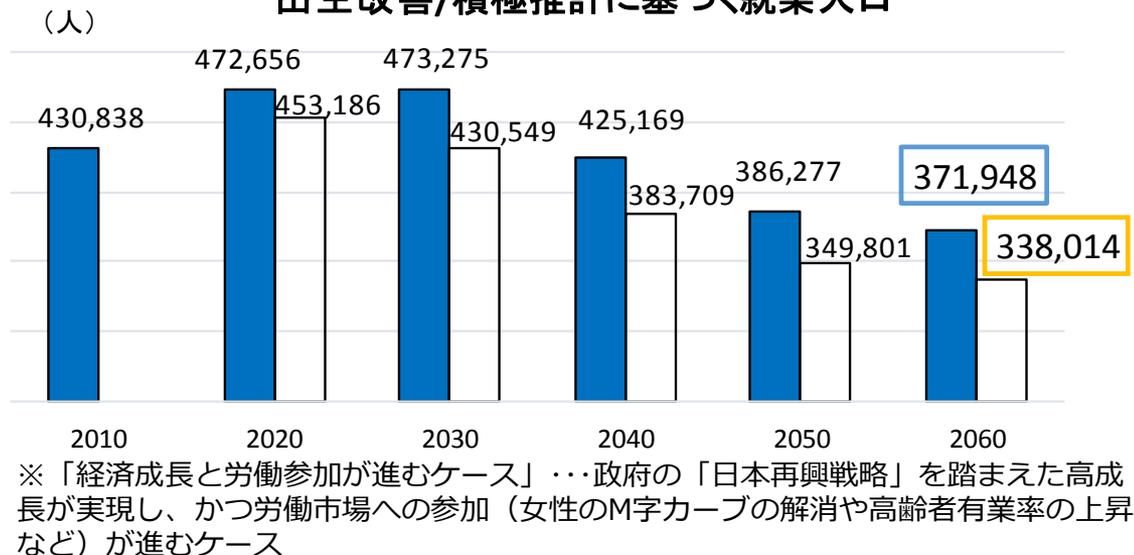


・ 人口減少対策と同時に、女性、若者、高齢者、障害者のさらなる労働参加に向けた「働きやすさ」「働き方」改革が求められる

出生中位/基準推計に基づく就業人口

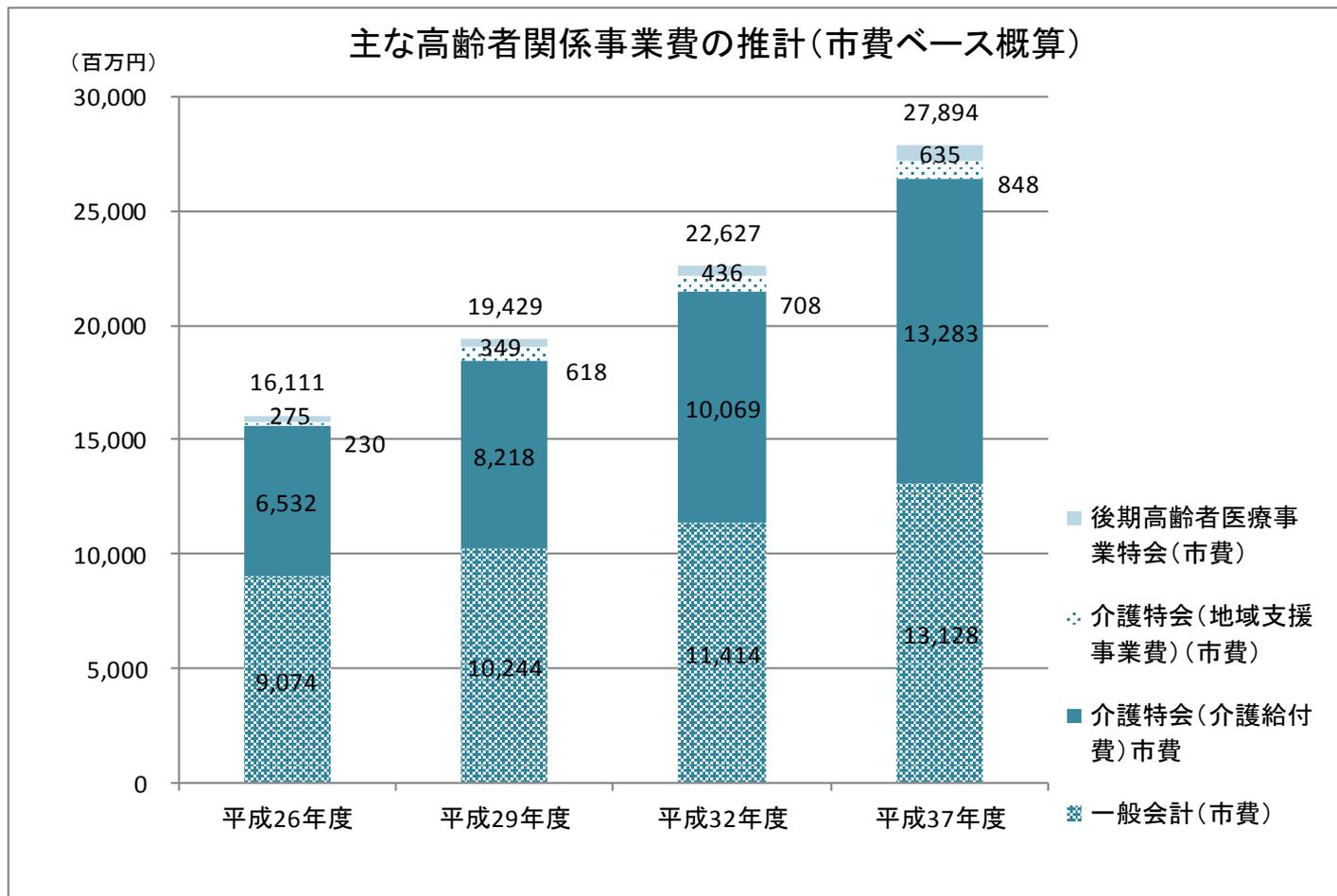


出生改善/積極推計に基づく就業人口



## 2-④ 財政への影響

- ・団塊の世代が全て75歳を迎える**2025年(平成37年)**には、高齢者関係事業費は**約1.7倍**まで増加する見通し
- ・人口減少を向かえれば、市民税等歳入も減少する



(備考) 千葉市中長期的な高齢者施策の指針(千葉市保健福祉局)

# 3 目指すべき人口の将来展望 ～ ちばシナリオ ～

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。

千葉開府

890



1126-2016



# 3 千葉市が目指す人口の将来展望

## 出生改善/積極推計

- ・ 合計特殊出生率は、2030年に1.68、2040年に1.94まで上昇する
- ・ 社会動態は、毎年500人社会増を上乗せする



- ・ 総人口は2060年で84万7千人が維持される
- ・ 高齢化率は2045年にピーク（36.6%）を迎え減少に転じる

そのために・・・

- **自然動態** : 合計特殊出生率の向上に着実に寄与していく
  - ⇒ 子育て施策、男女共同参画、ワークライフバランス等の推進を、一つ一つ着実に
  - ⇒ 若い世代に選ばれる都市を目指す
- **社会動態** : 基準となる社会増に毎年500人程度の上乗せを目指す
  - ⇒ 東京への流出を防ぐため、県内における人口の「ダム」機能を発揮
  - ⇒ 東京都区部に向けては居住地としての魅力を強く訴求
  - ⇒ 「職住がバランスしたライフスタイル」を提案し、これまで千葉に目を向けてこなかった層を
- **交流人口** : 産業振興と賑わいの創出
  - ⇒ 市の持つ高い拠点性に加え、JR千葉駅の改修、2020年五輪開催のチャンスを活かし、商業の中心、就業の場としての機能を維持・向上 “ちば”の都市圏全体の経済的な発展に貢献

## ちばシナリオ

人口減少・少子超高齢社会に果敢に挑戦し  
「交流」と「共創」による自立した圏域を創り出す  
～ “ちば”共創都市圏の確立を目指して ～

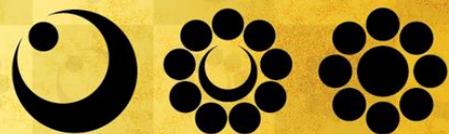
# 4 ちばシナリオを実現する まち・ひと・しごと創生総合戦略

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。

千葉開府

890



1126-2016



- ① 総合戦略の構成
- ② 国家戦略特区の取組み
- ③ 7つの重点戦略

## 4-① 総合戦略の構成

人口減少・少子超高齢社会に果敢に挑戦し  
「交流」と「共創」による自立した圏域を創り出す  
～ “ちば”共創都市圏の確立を目指して ～

### 総合戦略を貫く、都市経営の3方針

- I 自立した“ちば”共創都市圏を支え、活力の中心となる都市へ
- II 産業と経済、地域社会の活性化を推し進め、魅力あふれる都市へ
- III 人口減少・少子超高齢社会を見据えた、成熟都市へ

### ちばシナリオを実現する、7つの重点戦略

- 1 自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求
- 2 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成
- 3 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり
- 4 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり
- 5 都市資源を活用し、ひととひととがつながるまちづくり
- 6 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり
- 7 未来へと引き継がれる「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

# 4-② 国家戦略特区の活用

- ・あらゆる世代、境遇にある人々が活躍できる「共生社会」を実現
- ・意欲ある民間企業が創意工夫を発揮し、新ビジネスを生み出す場を用意



# 4-③ 7つの重点戦略 重点戦略1

## 重点戦略 1

### 自立した“ちば”共創都市圏で、わたしたちが果たす役割の追求

- ・ 周辺都市との連携により、“ちば”共創都市圏を形成
- ・ 多くの住民が行き交い経済活動が展開される独自の圏域の確立を目指す

#### 【基本目標】

- ・ 従業者数の増 432,258人 ⇒ 440,000人 (31年度)
- ・ 交流人口の増  
(幕張新都心年間来街者数) 4,820万人 ⇒ 増を目指す  
(JR千葉駅乗車人員) 103,592人/日 ⇒ 増を目指す

### 施策(1) 「競争」から「共創」の地域連携へ

#### (具体的事業・抜粋)

- 子ども・子育て支援環境の整備に係る市原市、四街道市との新たな広域連携促進
- 千葉県及び船橋市と連携した東京湾ツーリズム旅客船運航
- 産業育成の推進
- 既存の観光戦略の“ちば”共創都市圏への拡大推進
- ...



# 4-③ 7つの重点戦略 重点戦略2・3

## 重点戦略 2

### 都市の活力を支える産業の振興と人材の育成

・市内企業の成長促進、「域外から稼ぐ」産業の集積、起業家精神あふれる人材の育成など、イノベーションの創出や産業の新陳代謝を促す取組みを進める

#### 施策

- (1) 企業立地の一層の促進と、競争力のある産業集積の形成
- (2) 市民生活を支える持続性の高い地域経済の構築
- (3) 「技術」と「産業」と「資金」をつなぐ仕組み
- (4) MICEの誘致・観光プロモーションによる世界の観光需要の取り込み
- (5) 地域経済を支える人材の育成

## 重点戦略 3

### 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力にあふれたまちづくり

・妊娠期から子どもが自立するまで、仕事と子育てを両立するための多様な保育サービスの提供、教育の充実、ワーク・ライフ・バランスの推進などきめ細やかな支援を行う

#### 施策

- (1) 妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援
- (2) 充実した教育・保育の提供
- (3) ダイバーシティ（多様性）と男女共同参画の推進
- (4) 若さにあふれた活気あるまちづくり



# 4-③ 7つの重点戦略 重点戦略4・5

## 重点戦略 4

### 高齢者が心豊かに暮らせるまちづくり

・ 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、地域包括ケアシステムの早期構築に向けた取組み、健康寿命延伸のための取組みを強化する

#### 施策

- (1) 地域包括ケアシステムの構築・強化
- (2) 健康づくりの推進による健康寿命の延伸
- (3) アクティブシニアの活躍推進



## 重点戦略 5

### 都市資源を活用し、ひとつひとつとつながるまちづくり

・ 集約型都市構造への転換を見据えながら、都市機能の更なる集積や更新を促進。重要地域拠点を活かし、市内外を問わず多くの方々が交流する拠点を育成する

#### 施策

- (1) 都市のコンパクト化により活力を生み出す  
地域空間の形成
- (2) ネットワーク化の促進による、地域の拠点づくり
- (3) 幕張新都心の競争力の向上



# 4-③ 7つの重点戦略 重点戦略6・7

## 重点戦略 6

### 千葉市を知り、そして好きになる仕組みづくり

・本市固有の都市イメージの基礎なる「都市アイデンティティ」の確立と、ICTの活用等による、市民主体のまちづくりのための仕組みづくりを進める



#### 施策

- (1) 都市アイデンティティの確立
- (2) 市民全員参加のまちづくり
- (3) 「時間を返す」市民サービスの実現

## 重点戦略 7

### 未来へと引き継がれる 「オリンピック・パラリンピック・レガシー」の創出

・2020年大会を市民の、都市の「記憶」として引き継いでいけるよう、ソフトハード両面にわたる環境整備を進める



#### 施策

- (1) 有形・無形の「レガシー」の、未来への承継
- (2) パラリンピックを通じた共生社会の実現

# 5 まち・ひと・しごとと創生の推進

○まち・ひと・しごと創生の主役は、市民であり、市を訪れる方々であり、企業・団体等、千葉市に関わる皆様

○まずは「人口ビジョン」を見ていただき、市の現状や将来展望を良く理解していただくことが大切

# 2016年は 千葉開府890年です

千葉開府

890



1126-2016

千葉市のルーツ「千葉氏」

890年前、  
このまちが  
開かれた。



○平成28年（2016年）は、大治元年（1126年）に千葉常重が亥鼻付近に館を構え、都市としての千葉が誕生した千葉開府から890年という節目の年

○常重の子常胤は、源頼朝を支えて、鎌倉幕府の成立に大きく貢献

○わがまちの歴史に、愛着と誇りを持っていただけるよう、「都市アイデンティティ戦略プラン」を策定

○記念行事「千葉氏サミット」や、ラッピングモノレールによるPR、郷土教育などを展開